

第9回 中・高等学校 交渉コンペティションへの参加

The Junior/Senior High School Negotiation Competition [December 2025]

[2025年12月]

2025年12月20日（土）東京都立戸山高等学校で開催された
「第9回 中・高等学校 交渉コンペティション」に、
上水高校の2年次生有志の5名が参加しました！

高等学校の公民科では、「現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力」を養うことを目指しています。

2017年に発足した「中・高等学校交渉コンペティション」は、これらの力を育成するイベントです。アメリカ全土のロースクールでほぼ必修科目となりつつある「交渉学」の考え方や技能を中高生の段階から身に付けることが重要だ、という問題意識から、法学・教育学の研究者の方々、高等学校の先生方が連携して、大会が企画・運営されています。

上水高校は、今回初めて大会に参加することになりました。



【中・高等学校交渉コンペティション】
(The Junior/Senior High School Negotiation Competition)

<https://sites.google.com/view/negocompetiton/>

参考：【大学対抗交渉コンペティション】
(Intercollegiate Negotiation Competition)
<https://www.negocom.jp/>

大会参加を希望する生徒たちは、8月の夏期講習で「交渉」について学びました。このとき、中・高等学校交渉コンペティション実行委員の埼玉大学教育学部准教授の小貫篤先生に、オンライン講義をしていただきました。

「交渉」というと、自分にばかり有利になるように相手を言い負かす、というイメージがあるかもしれません。しかし、そうではなく、相手を「問題解決の協力者」と考え、双方にとって満足できる解決策をさぐる「協調型交渉モデル」というものがあることを、小貫先生に教えていただきました。



交渉コンペティションはチームの対抗戦です。11月の下旬、大会の準備を始めました。今回の問題は「入会地をめぐる住民と企業の交渉」。ある村のリゾート開発を計画する「企業」か、住民である「村民」が大会実行委員会から指定されます。上水高校チームは「企業」を担当することになりました。対戦校は「村民」を担当します。「共通事項」と、それぞれの「秘密事項」が事前に配布され、相手の交渉内容を想像しながら準備をすすめました。



大会が近づいてきました。

対戦校を想定して、
先生方を相手に
練習を行いました。
(国語、英語、公民の
先生です→)





今回の大会は、東京都立戸山高校が会場でした。参加26チームのうち、遠方の学校はオンラインでの参加のところもありました。上水高校チームの「交渉」の部屋では、弁護士の先生と小学校の先生が審査員としてジャッジしてくださいました。

～上水高校チームの生徒の感想です～

初めての経験で、なかなかうまくいかないこととかやりきれない部分とかありました、今回このような機会に参加することができて、とても良い経験になりました。ふとした思い付きを、自分だけのものにせずに仲間同士で共有できたのがよかったです。

対戦相手の説明やパワーポイントが上手で驚いた。いい経験になった。

双方が納得するような交渉をするのがとても難しかったけど、とても楽しかった。

自分の意見を通すことより相手と話し合ってよりいい案を出すことの大切さを学べて良い経験になった。パワーポイント資料があれば、ただ言葉で聞くより頭に残りやすいと思ったからもう少し凝れば良かったと思った。

相手の準備の用意周到さに驚きました。多少不利なところはあったけどお互い120%の結果に終わってよかったです。事前に準備して相手との交渉に臨むという経験は今後に生かせそうないい経験になったと思います。相談タイムである程度の方向性を決めることができていてよかったです。

